



石の大小、形が違っていても相互にかみ合い補強し合うように石を積み上げていく。側面が完成したとき、熟練を駆使して秩序よく並だ構造美に息を呑むほどだった。

「高田の入山で炭焼きするために、いま窯をつくっているそうだ」という噂を聞いて、住民が入山してきた。

一服しながら懐かしい炭焼き復活を励まされた。



いよいよ炭焼き窯づくりの最終段階。
天井部の石を徐々に中央部に巻き込む
ように寄せていく。そのため石の重心
を内側に傾けるように積んでいく。
形が違う大きな石を選べるように一個
一個ひろげて置く。最後に要石を食い
込みませ、粘土で補強し断熱材の山土を
被せれば石窯の完成。

